

行・催事計画

1 行・催事の基本方針

開催地元県としてのおもてなしや、県外や世界からの来館者に愛知県の文化を紹介する場として、愛知の様々な地域特性を活かした催しを、幅広い県民参加のもとで、博覧会の開催期間の185日間を通じて展開します。

県民が主体的に参加する行・催事の実現

会期中に行われる県内各地域の取組と会場を結び、広域的な視点をもつ行・催事の実現

会場と地域を情報技術で結び発信する情報交流型の行・催事の実現

2 行・催事の内容とその展開

(1) 行事

行事は、大きく2つに分けることができ、一つは開催地元県として来賓や関係者を招いて愛知県が実施する公式の式典であり、いま一つは催事参加者への歓迎式典です。博覧会協会の行事計画と調整をとりながら実施していきます。

展開内容：県パビリオン開館・閉館式、節目の入場者セレモニー(100万人記念等)、催事参加者の歓迎式 など

(2) 催事

催事は、地域を代表する伝統芸能や地域の芸術・文化などによる、愛知県をPRするイベントプログラムです。

展開内容：愛知県企画イベントや、市町村、諸団体などが企画し実施する県民参加のイベント など

(3) 行・催事の実施空間

行・催事の中心的拠点は、青少年公園地区県パビリオンとし、イベントなどを展開できる交流空間を設置します。

また、海上地区県パビリオンにおいてもワークショップ等を展開する多目的な空間を設置します。

3 催事計画検討項目

県パビリオンで催す催事プログラムの構成に向けて、次の4項目を検討し、催事計画を具体化していきます。

県民参加イベントや市町村参加イベントなどへの参加システム

催事空間の利用方法

地域の取組と連携して展開する催事

広報・運営計画

1 広報計画

(1) 考え方

県パビリオンへの期待を高めるため、会期の前段階から、県パビリオンの準備状況や県民参加の募集などの情報発信を積極的に行います。また、会期中においては、県パビリオンへの来館促進につなげていきます。

(2) 基本方針

新しい愛知のイメージ形成に寄与する新しいコミュニケーション手段を活用した広報の推進
県民とともに行う会期前からの広報展開
情報技術等を活用して県パビリオンの情報発信ができるしくみの導入

(3) 計画推進

県パビリオンに関する地域と連携した取組の情報収集を行い、県パビリオンづくりの状況などを常に情報発信ができる広報の推進体制をつくっていきます。

2 運営計画

(1) 考え方

博覧会協会による会場の全体運営との連携を図りながら、県パビリオンの展示や行・催事の内容を来館者に対して分かりやすく示すとともに、安全性や快適性に配慮した運営を展開していきます。

(2) 基本方針

88市町村で行われる取組と連携を図るなどにより、愛知県の地域特性を活かし、暖かなもてなしの心で運営
県民が参加できる運営のしくみの導入
安全性・利便性に配慮した運営
ユニバーサルデザインの導入など来館者が利用しやすいパビリオン運営
リサイクル、リユースなど環境に配慮した運営

事業全体スケジュール

